エネルギーに関する学生アンケートについて

基本データ

・アンケート期間
　2014年9月4日～2014年9月15日

・回答者比率（男女、文系理系）
　右図の通り

文系男子	232
理系男子	191
文系女子	544
理系女子	333
合計	1,300

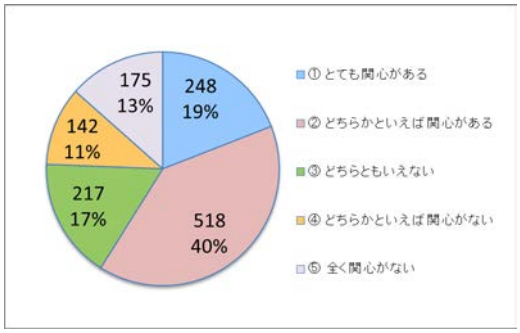
主要な結果

・約60%はエネルギー問題に関心があり、日本の将来を考える上で
　重要なテーマだと思う人は約85%とエネルギーに関する意識は高い。

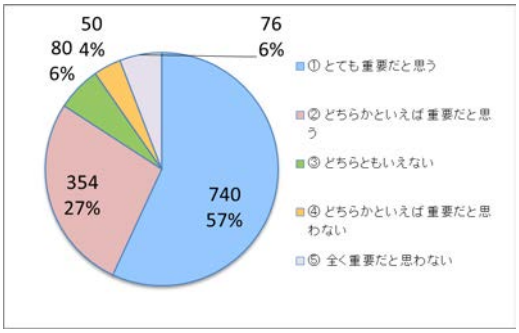
・原子力発電所の再稼働に対して反対（44%）は賛成（28%）を上回り、
　どちらともいえないは28%もいる。
　ただし男性のみでは賛成が反対を上回る（次ページ参照）

・今すぐ再生可能エネルギーを主力にできると考える人は16%

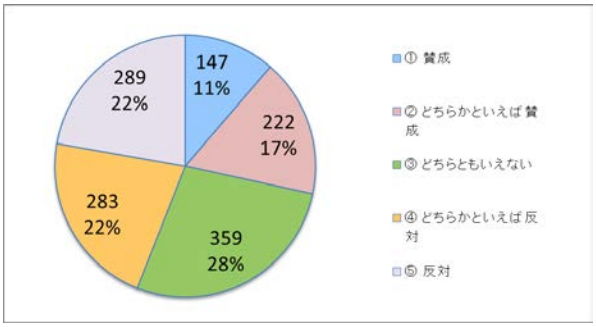
エネルギー問題にどの程度関心がありますか？



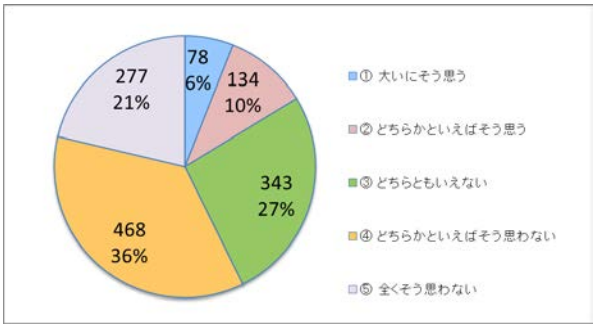
日本の将来を考える上で、エネルギー問題は
重要なテーマだと思いますか？



原子力発電所の再稼働に賛成ですか、反対ですか？



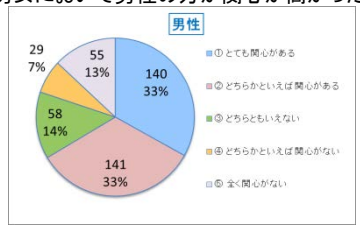
「今すぐ、再生可能エネルギーを日本の
エネルギーの主力にできる」と思いますか？

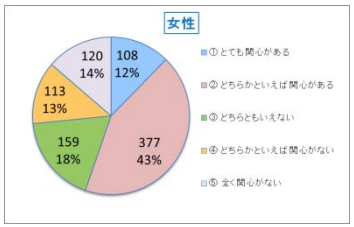


エネルギーに関する学生アンケート結果

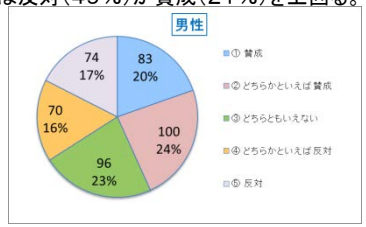
男女、文系理系による比較

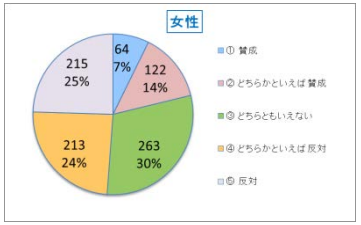
・エネルギーに関する関心は男女、文系理系、いずれの観点からも高いが、
特に男女において男性の方が関心が高かった。



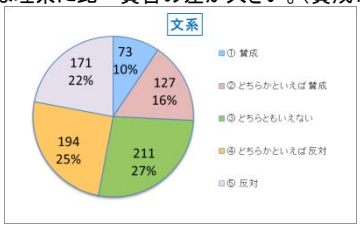


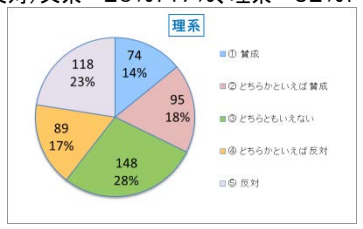
・再稼働の賛否については、男性女性の観点では男性は賛成（44%）が反対（33%）を上回り、
女性は反対（49%）が賛成（21%）を上回る。





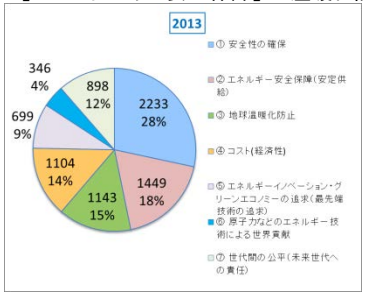
・再稼働の賛否については文系理系の観点では文系、理系ともに反対が賛成を上回る。
文系は理系に比べ賛否の差が大きい。（賛成：反対）文系⇒26%：47%、理系⇒32%：40%

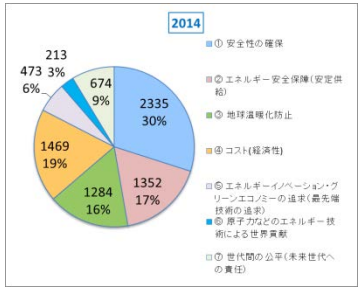




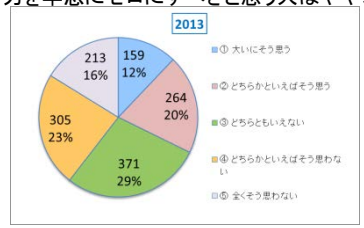
昨年との比較

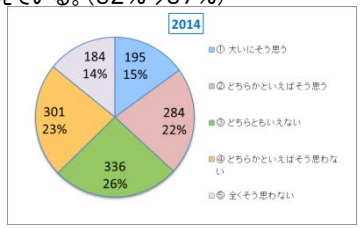
・発電方式の選択において最重要視するものは「安全確保」であったが
「コスト」が「エネルギー安全保障」と「温暖化防止」を抜いて2位となった。



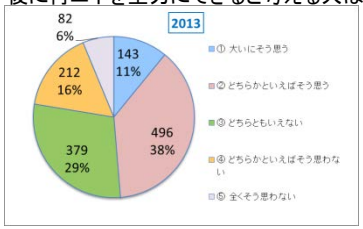


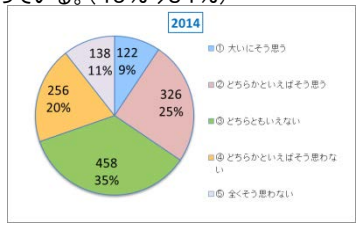
・原子力を早急にゼロにすべきと思う人はやや増えている。（32%→37%）





・30年後に再エネを主力にできると考える人は減っている。（49%→34%）





その他の設問について

・30年後の化石燃料の使用割合をどうすべきかについてLNGは変化が
ないものの、石油、石炭は使わない方が良いと考える人が増えた（Q5-1～3）
・30年後の原子力の使用割合をどうすべきかについては、使わない方が良い
と考える人がやや増えた。（49%→52%）（Q5-8）
・30年後も原子力の研究を維持すべきと考える人は減っている（55%→47%）（Q-8）
・なんらかの節電をしている人が82%、何もしていない人が18%（Q②）
・再生可能エネ普及のため、何らかの負担をしても良いと思う人が約8割（Q④）

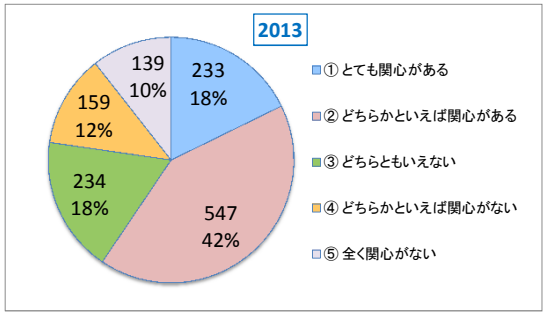
・夏や冬の電力不足を心配している人が過半数（52%）（Q⑥）
・電気料金値上げは原発停止のため仕方ないとの意見が3割と一番多い
一方、再稼働により解決すべきとの意見が2割（Q⑧）
・原子力規制委員会の認知度は低い。（6割が知らない）（Q⑪）
・エネルギー自給率（Q10）、CO2排出量（Q5）、電源構成比率（Q9）、
代替火力の燃料費（Q⑦）、世界の建設中プラント数（Q⑩）を尋ねる
設問で正解率が最も高いのは代替火力の燃料費。

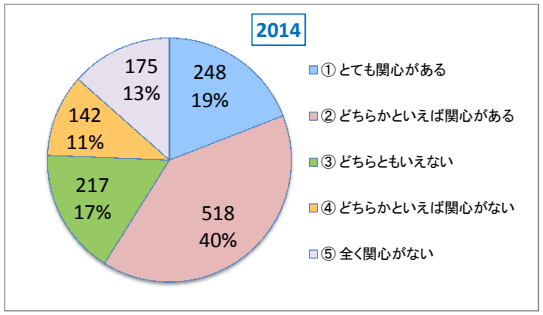
（）の数字は詳細版での設問番号

アンケート結果　2013vs2014

Q1　エネルギー問題にどの程度関心がありますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	とても関心がある	233	18	248	19
②	どちらかといえば関心がある	547	42	518	40
③	どちらともいえない	234	18	217	17
④	どちらかといえば関心がない	159	12	142	11
⑤	全く関心がない	139	10	175	13
計		1,312	100	1,300	100

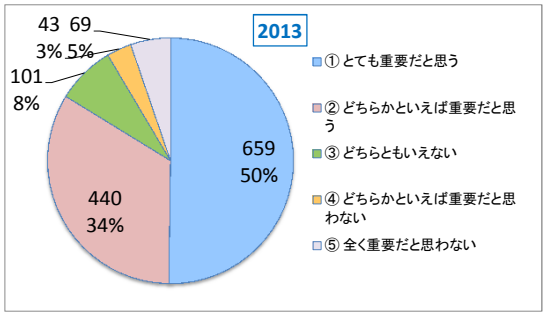


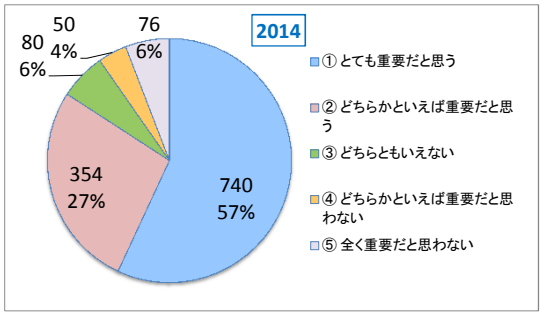


大きな変化はなく、エネルギー問題に対する関心は高い。

Q2　日本の将来を考える上で、エネルギー問題は重要なテーマだと思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	とても重要だと思う	659	50	740	57
②	どちらかといえば重要だと思う	440	34	354	27
③	どちらともいえない	101	8	80	6
④	どちらかといえば重要だと思わない	43	3	50	4
⑤	全く重要だと思わない	69	5	76	6
計		1,312	100	1,300	100

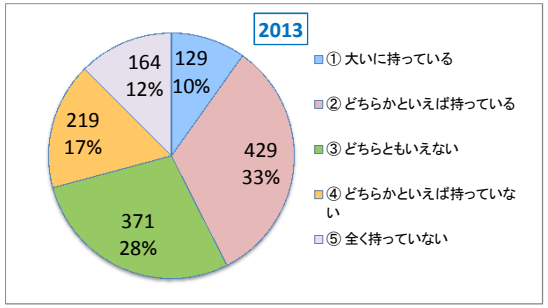


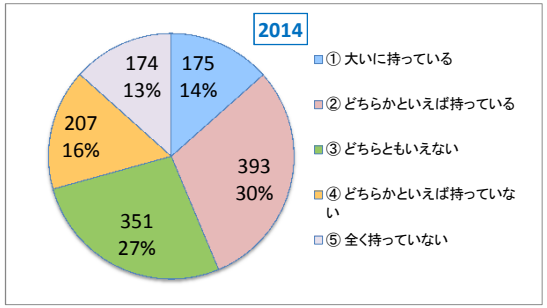


8割を超える人が「重要である（①＋②）」と引き続き多い。また「①とても重要」が7%増加

Q3　エネルギーの選択に関して、ご自分の意見や考え方をお持ちですか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	大いに持っている	129	10	175	14
②	どちらかといえば持っている	429	33	393	30
③	どちらともいえない	371	28	351	27
④	どちらかといえば持っていない	219	17	207	16
⑤	全く持っていない	164	12	174	13
計		1,312	100	1,300	100

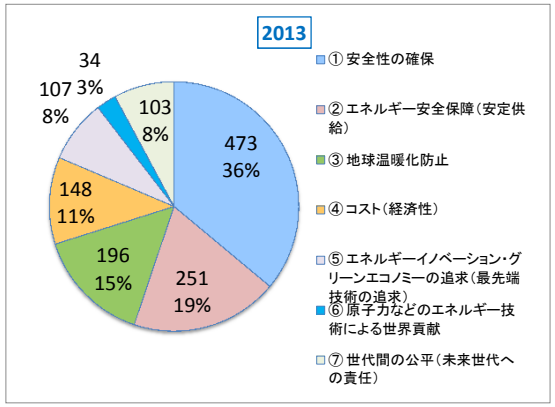


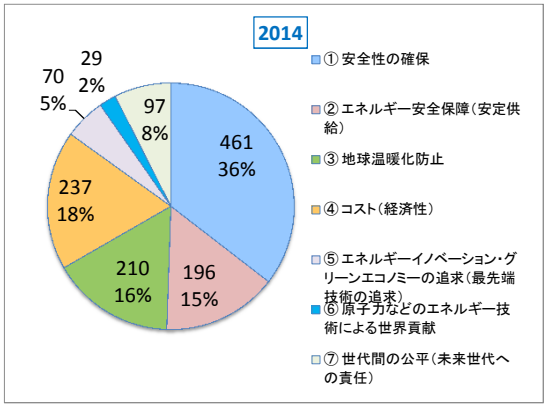


ほぼ変化なし

Q4－1 エネルギー源や発電方法を選ぶ際に、あなたが重視するのは次のうちどれですか？

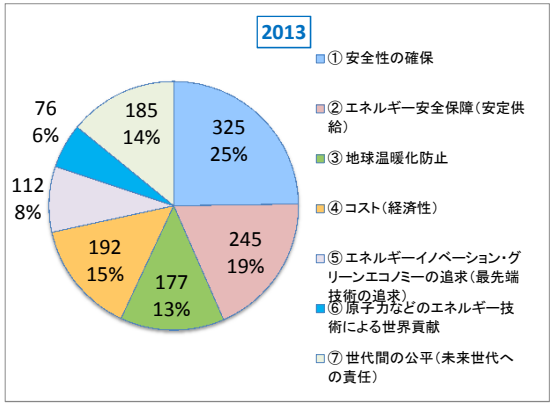
		2013		2014	
項目		人数	回答率	人数	回答率
①	安全性の確保	473	36	461	36
②	エネルギー安全保障（安定供給）	251	19	196	15
③	地球温暖化防止	196	15	210	16
④	コスト（経済性）	148	11	237	18
⑤	エネルギーイノベーション・グリーンエコノミーの追求（最先端技術の追求）	107	8	70	5
⑥	原子力などのエネルギー技術による世界貢献	34	3	29	2
⑦	世代間の公平（未来世代への責任）	103	8	97	8
計		1,312	100	1,300	100

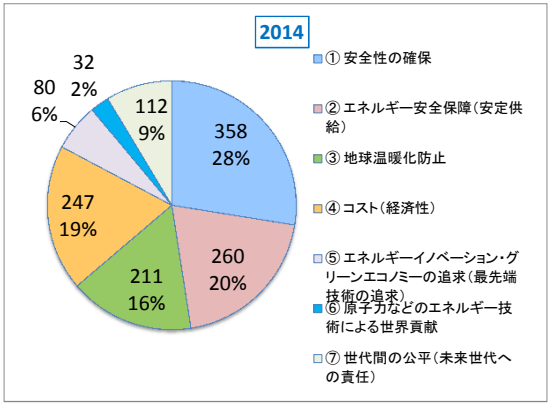




Q4－2 エネルギー源や発電方法を選ぶ際に、あなたが2番目に重視するのは次のうちどれですか？

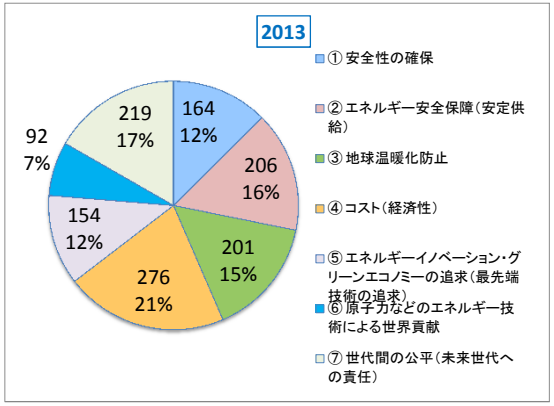
		2013		2014	
項目		人数	回答率	人数	回答率
①	安全性の確保	325	25	358	28
②	エネルギー安全保障（安定供給）	245	19	260	20
③	地球温暖化防止	177	13	211	16
④	コスト（経済性）	192	15	247	19
⑤	エネルギーイノベーション・グリーンエコノミーの追求（最先端技術の追求）	112	8	80	6
⑥	原子力などのエネルギー技術による世界貢献	76	6	32	2
⑦	世代間の公平（未来世代への責任）	185	14	112	9
計		1,312	100	1,300	100

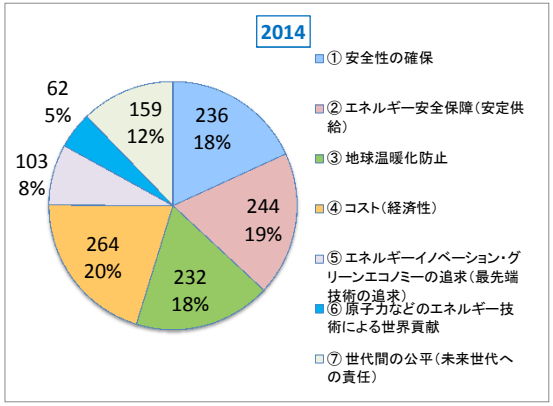




Q4－3 エネルギー源や発電方法を選ぶ際に、あなたが3番目に重視するのは次のうちどれですか。

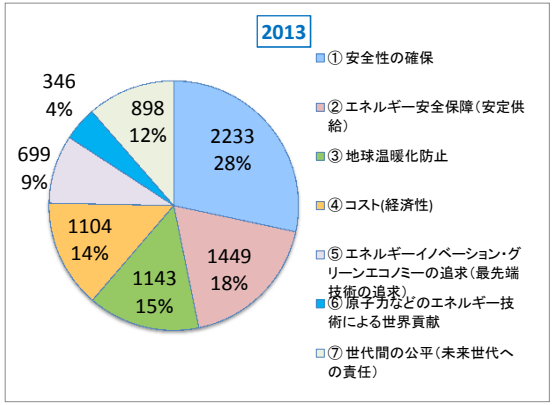
	項目	2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	安全性の確保	164	12	236	18
②	エネルギー安全保障（安定供給）	206	16	244	19
③	地球温暖化防止	201	15	232	18
④	コスト（経済性）	276	21	264	20
⑤	エネルギーイノベーション・グリーンエコノミーの追求（最先端技術の追求）	154	12	103	8
⑥	原子力などのエネルギー技術による世界貢献	92	7	62	5
⑦	世代間の公平（未来世代への責任）	219	17	159	12
計		1,312	100	1,300	100

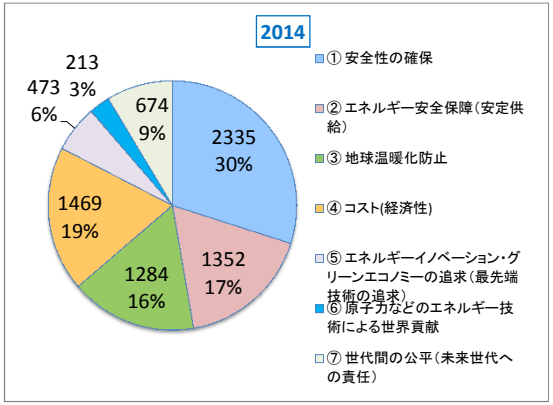




Q4－4 エネルギー源や発電方法を選ぶ際に、あなたが重視するのはどれですか？1位から3位まで順位をつけ、その番号をご記入ください。

	項目	2013 人数＊点数	2014 人数＊点数
①	安全性の確保	2233	2335
②	エネルギー安全保障（安定供給）	1449	1352
③	地球温暖化防止	1143	1284
④	コスト(経済性)	1104	1469
⑤	エネルギーイノベーション・グリーンエコノミーの追求（最先端技術の追求）	699	473
⑥	原子力などのエネルギー技術による世界貢献	346	213
⑦	世代間の公平（未来世代への責任）	898	674
計		7872	7800





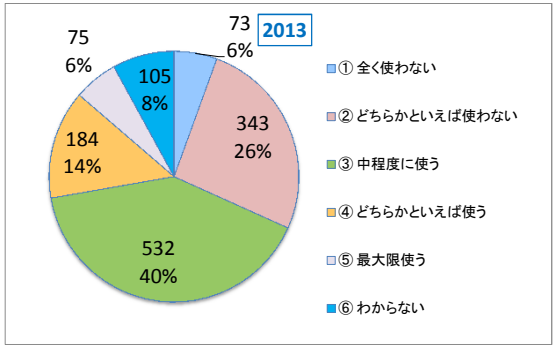
安全が1位は変わらず。コストが4位→2位に上昇。

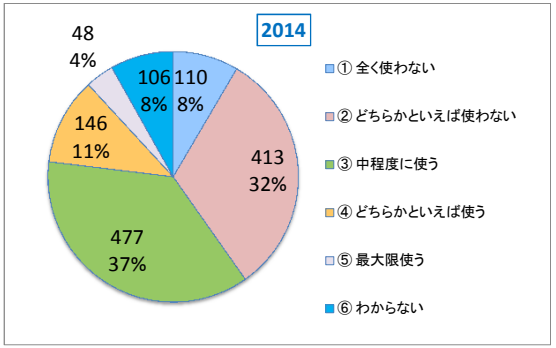
2013	① 安全性の確保	② エネルギー安全保障	③ 地球温暖化防止	④ コスト（経済性）	⑤ エネルギーイノベーション・グリーンエコノミーの追求	⑥ 原子力などのエネルギー技術による世界貢献	⑦ 世代間の公平（未来世代への責任）
1位(3点)	1,419	753	588	444	321	102	309
2位(2点)	650	490	354	384	224	152	370
3位(1点)	164	206	201	276	154	92	219
合計	2,233	1,449	1,143	1,104	699	346	898

2014	① 安全性の確保	② エネルギー安全保障	③ 地球温暖化防止	④ コスト（経済性）	⑤ エネルギーイノベーション・グリーンエコノミーの追求	⑥ 原子力などのエネルギー技術による世界貢献	⑦ 世代間の公平（未来世代への責任）
	1,383	588	630	711	210	87	291
	716	520	422	494	160	64	224
	236	244	232	264	103	62	159
	2,335	1,352	1,284	1,469	473	213	674

Q5－1　今から30年後、「石油」エネルギーを日本はどのくらいにすることが望ましいと思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	全く使わない	73	6	110	8
②	どちらかといえば使わない	343	26	413	32
③	中程度に使う	532	40	477	37
④	どちらかといえば使う	184	14	146	11
⑤	最大限使う	75	6	48	4
⑥	わからない	105	8	106	8
計		1,312	100	1,300	100

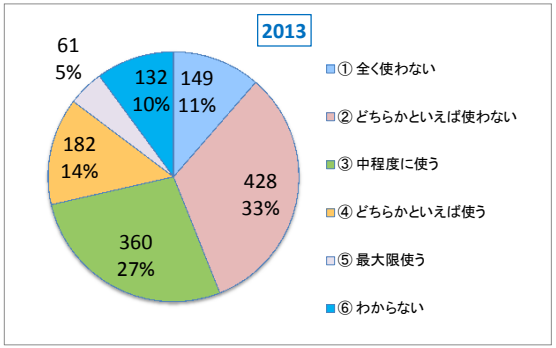


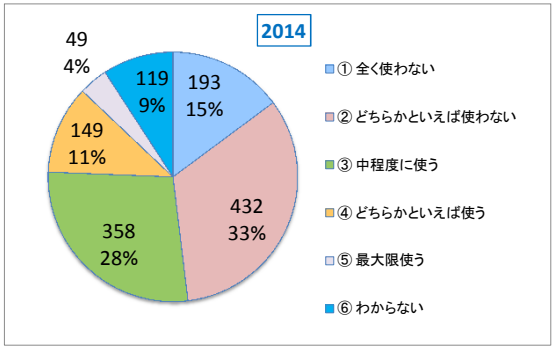


使わない方が良い（①＋②）と考える人が8%増加

Q5－2　今から30年後、「石炭」エネルギーを日本はどのくらいにすることが望ましいと思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	全く使わない	149	11	193	15
②	どちらかといえば使わない	428	33	432	33
③	中程度に使う	360	27	358	28
④	どちらかといえば使う	182	14	149	11
⑤	最大限使う	61	5	49	4
⑥	わからない	132	10	119	9
計		1,312	100	1,300	100

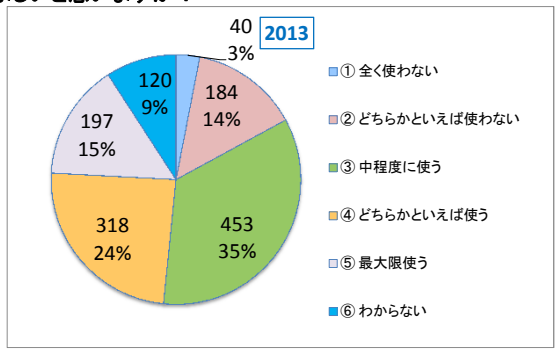


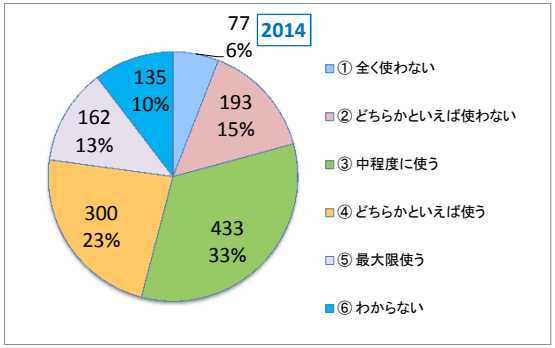


使わない方が良い（①＋②）と考える人が4%増加

Q5－3　今から30年後、「天然ガス（LNG）」エネルギーを日本はどのくらいにすることが望ましいと思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	全く使わない	40	3	77	6
②	どちらかといえば使わない	184	14	193	15
③	中程度に使う	453	35	433	33
④	どちらかといえば使う	318	24	300	23
⑤	最大限使う	197	15	162	13
⑥	わからない	120	9	135	10
計		1,312	100	1,300	100

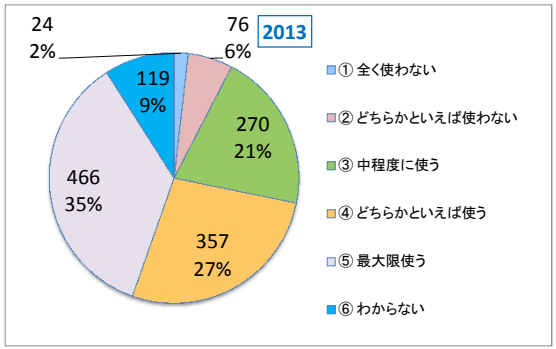


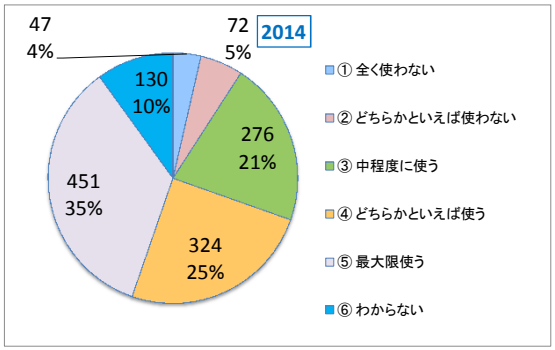


ほぼ変化なし

Q5－4　今から30年後、「水力」エネルギーを日本はどのくらいにすることが望ましいと思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	全く使わない	24	2	47	4
②	どちらかといえば使わない	76	6	72	5
③	中程度に使う	270	21	276	21
④	どちらかといえば使う	357	27	324	25
⑤	最大限使う	466	35	451	35
⑥	わからない	119	9	130	10
計		1,312	100	1,300	100

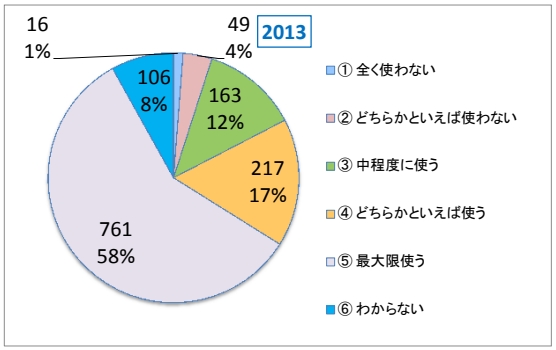


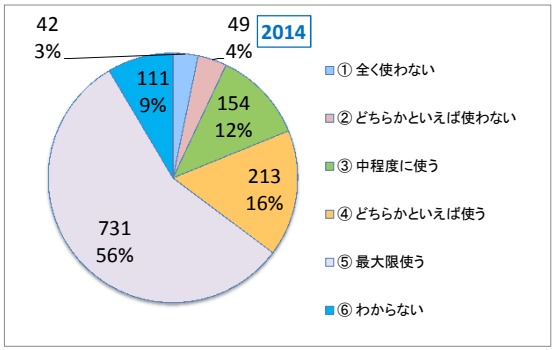


ほぼ変化なし

Q5－5　今から30年後、「太陽光」エネルギーを日本はどのくらいにすることが望ましいと思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	全く使わない	16	1	42	3
②	どちらかといえば使わない	49	4	49	4
③	中程度に使う	163	12	154	12
④	どちらかといえば使う	217	17	213	16
⑤	最大限使う	761	58	731	56
⑥	わからない	106	8	111	9
計		1,312	100	1,300	100

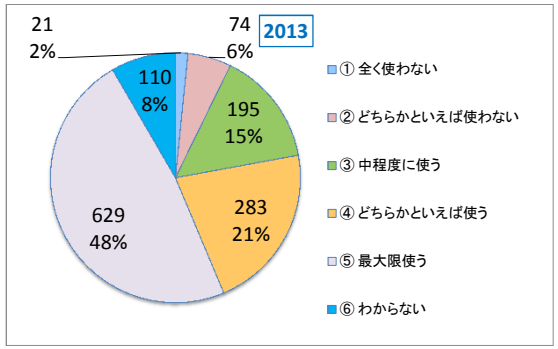


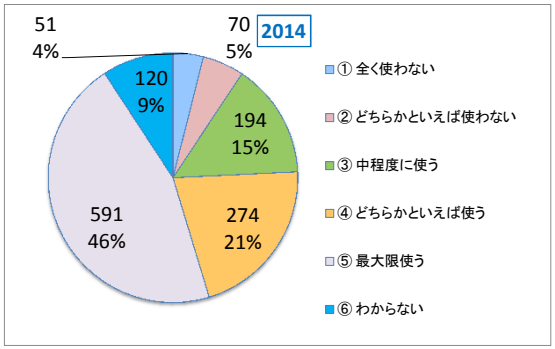


ほぼ変化なし

Q5－6　今から30年後、「風力」エネルギーを日本はどのくらいにすることが望ましいと思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	全く使わない	21	2	51	4
②	どちらかといえば使わない	74	6	70	5
③	中程度に使う	195	15	194	15
④	どちらかといえば使う	283	22	274	21
⑤	最大限使う	629	48	591	46
⑥	わからない	110	8	120	9
計		1,312	100	1,300	100

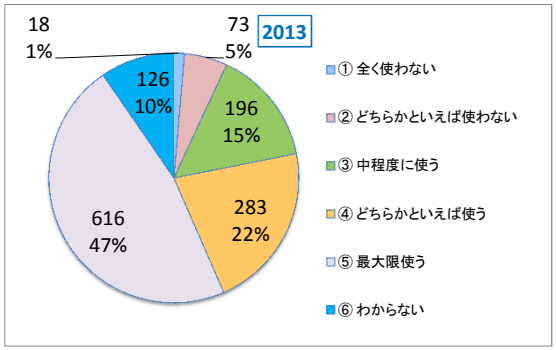


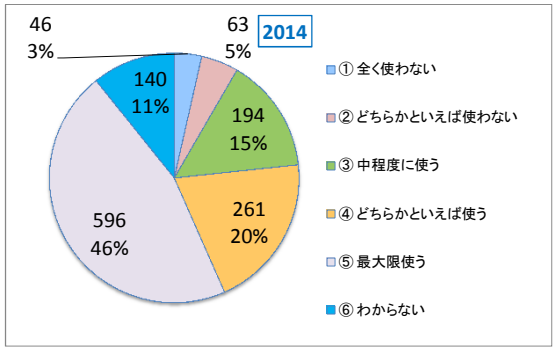


ほぼ変化なし

Q5－7　今から30年後、「その他再生エネルギー（バイオマス・地熱など）」エネルギーを日本はどのくらいにすることが望ましいと思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	全く使わない	18	1	46	3
②	どちらかといえば使わない	73	5	63	5
③	中程度に使う	196	15	194	15
④	どちらかといえば使う	283	22	261	20
⑤	最大限使う	616	47	596	46
⑥	わからない	126	10	140	11
計		1,312	100	1,300	100

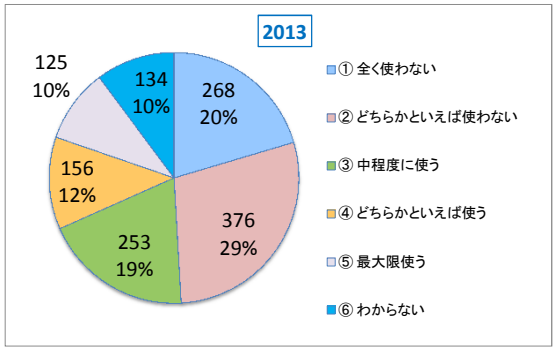


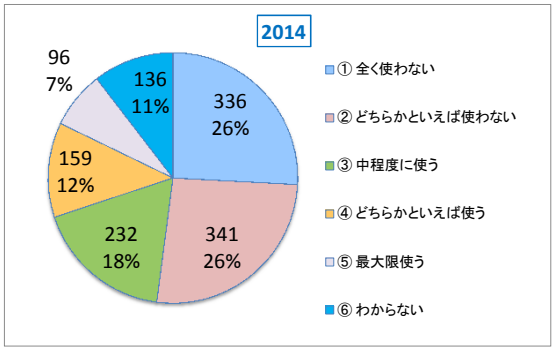


ほぼ変化なし

Q5－8　今から30年後、「原子力」エネルギーを日本はどのくらいにすることが望ましいと思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	全く使わない	268	20	336	26
②	どちらかといえば使わない	376	29	341	26
③	中程度に使う	253	19	232	18
④	どちらかといえば使う	156	12	159	12
⑤	最大限使う	125	10	96	7
⑥	わからない	134	10	136	11
計		1,312	100	1,300	100

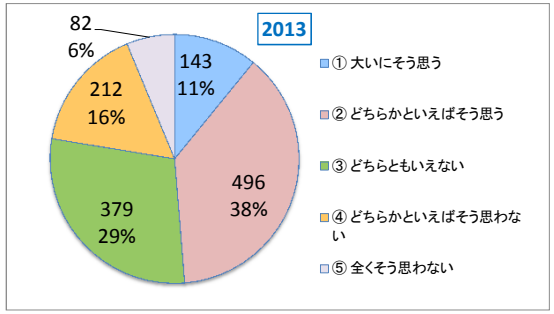


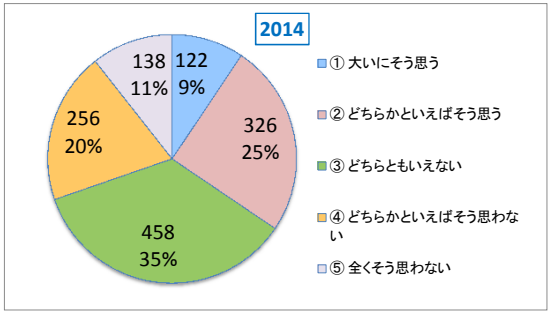


使わない方が良い（①＋②）と考える人が増加し、過半数を占める。

Q6　「今から30年後、再生可能エネルギーを日本のエネルギーの主力にできる」と思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	大いにそう思う	143	11	122	9
②	どちらかといえばそう思う	496	38	326	25
③	どちらともいえない	379	29	458	35
④	どちらかといえばそう思わない	212	16	256	20
⑤	全くそう思わない	82	6	138	11
計		1,312	100	1,300	100

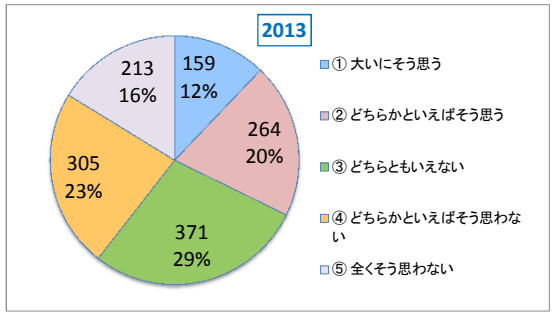


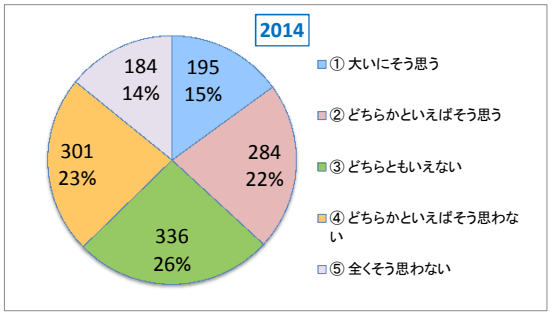


できると思う人（①＋②）が大きく15%も減少し、できると思わない人（④＋⑤）が9%増加

Q7　「日本の総発電電力に占める原子力の比率は、30年後を待たずに早急にゼロにすべきである」と思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	大いにそう思う	159	12	195	15
②	どちらかといえばそう思う	264	20	284	22
③	どちらともいえない	371	29	336	26
④	どちらかといえばそう思わない	305	23	301	23
⑤	全くそう思わない	213	16	184	14
計		1,312	100	1,300	100

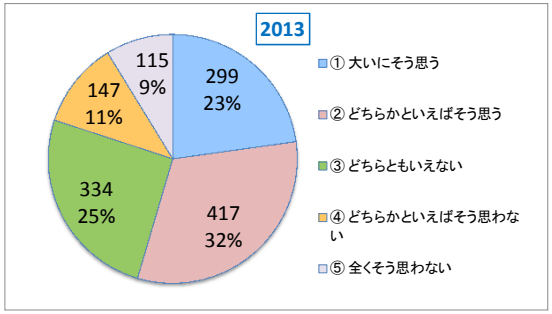


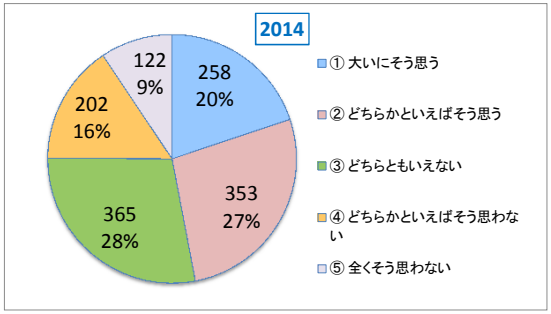


早急にゼロにすべきと思う人（①＋②）が5%増加

Q8　あなたは、原子力発電の是非とは別に、今から30年後も原子力発電技術の研究自体は維持すべきだと思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	大いにそう思う	299	23	258	20
②	どちらかといえばそう思う	417	32	353	27
③	どちらともいえない	334	25	365	28
④	どちらかといえばそう思わない	147	11	202	16
⑤	全くそう思わない	115	9	122	9
計		1,312	100	1,300	100

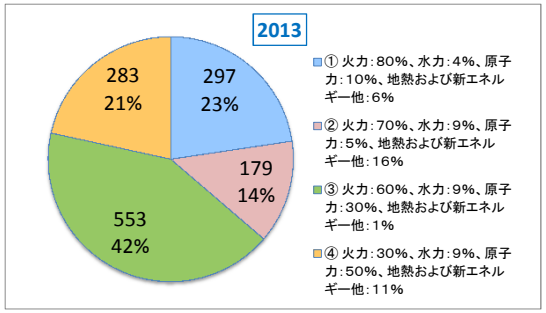


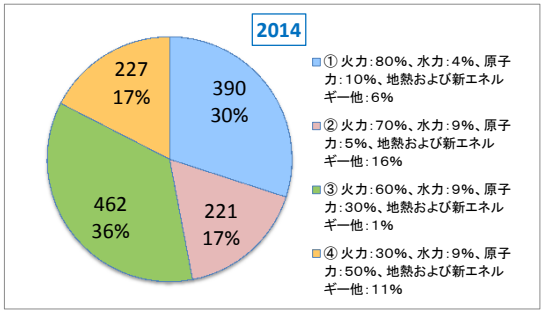


研究を維持すべきと考える人（①＋②）は8%減小し、過半数を割り、維持しなくてよいと考える人（④＋⑤）が5%増加。

Q9　東日本大震災前（2010年度より前）、日本の電源構成の比率は、どの程度だと思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率	
①	火力：80%、水力：4%、原子力：10%、地熱および新エネルギー他：6%	297	23	390	30	
②	火力：70%、水力：9%、原子力：5%、地熱および新エネルギー他：16%	179	14	221	17	
③	火力：60%、水力：9%、原子力：30%、地熱および新エネルギー他：1%	553	42	462	36	→正解
④	火力：30%、水力：9%、原子力：50%、地熱および新エネルギー他：11%	283	21	227	17	
計		1,312	100	1,300	100	

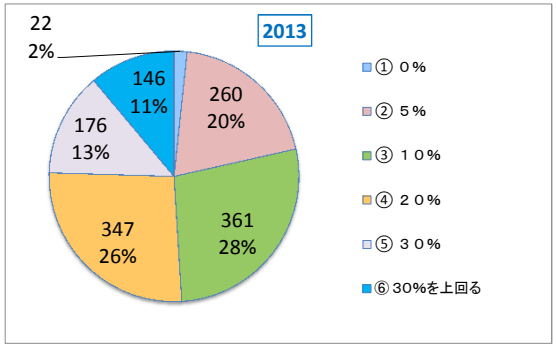


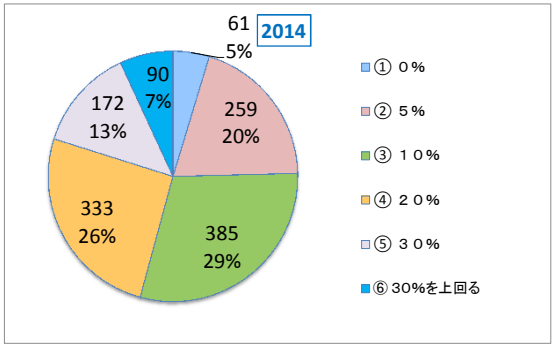


正解数（③）は減小し、およそ1/3程度となった。

Q10　電気、ガス、石油などエネルギー全体で考えた時、日本のエネルギー自給率の現状は、およそ何%だと思いますか？（準国産といわれる原子力は除く）

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率	
①	0%	22	2	61	5	
②	5%	260	20	259	20	→正解
③	10%	361	28	385	30	
④	20%	347	26	333	26	
⑤	30%	176	13	172	13	
⑥	30%を上回る	146	11	90	7	
計		1,312	100	1,300	100	

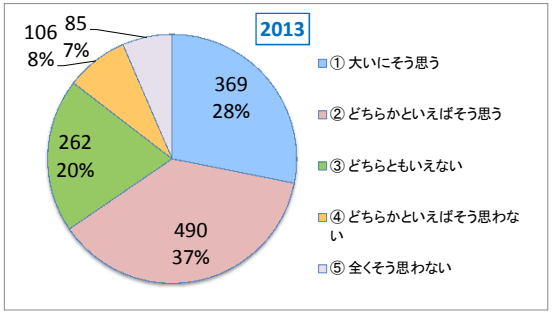


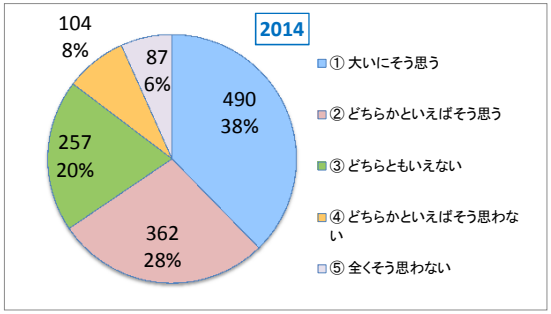


正解（②）は変わらず1/5と低い。30%以上と答えた人は減小。0%と答えた人は増加

Q11　意見を選択する際には、多様な立場の人々の意見を聞いてから選びたいと思いますか？

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	大いにそう思う	369	28	490	38
②	どちらかといえばそう思う	490	37	362	28
③	どちらともいえない	262	20	257	20
④	どちらかといえばそう思わない	106	8	104	8
⑤	全くそう思わない	85	7	87	6
計		1,312	100	1,300	100





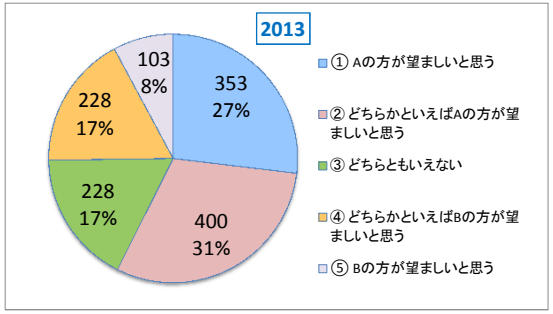
6割を超える人が「様々な意見を聞いて選びたい（①＋②）」と考えており引き続き多い。また「①大いにそう思う」が10%増加

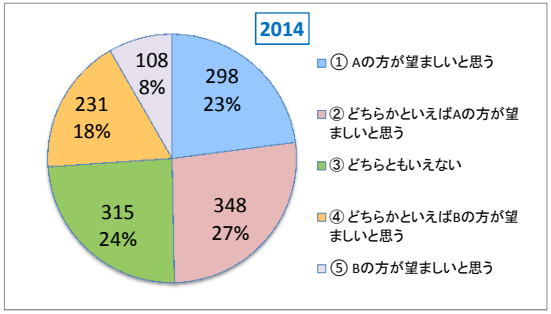
Q12　将来の方向性を決める際に、以下に挙げるどちらの決め方が望ましいと思いますか？

A：　目標設定型（目標となる社会の姿を想定し、その姿から現在を振り返って今何をすればいいかを考えるやり方）

B：　実績積み上げ型（過去のデータや実績に基づいて、物事を積み上げて将来を予測するやり方）

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	Aの方が望ましいと思う	353	27	298	23
②	どちらかといえばAの方が望ましいと思う	400	30	348	27
③	どちらともいえない	228	17	315	24
④	どちらかといえばBの方が望ましいと思う	228	17	231	18
⑤	Bの方が望ましいと思う	103	8	108	8
計		1,312	100	1,300	100

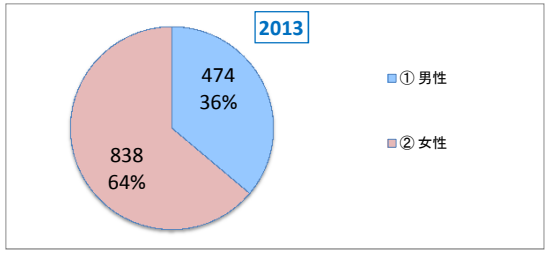


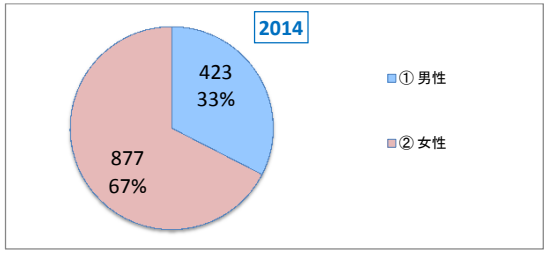


目標設定型が良いを考える人は8%減小。実績積み上げ型は変化なし。

Q13　あなたの性別は何ですか？

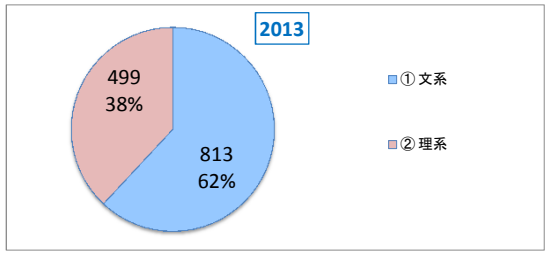
項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	男性	474	36	423	33
②	女性	838	64	877	67
計		1,312	100	1,300	100

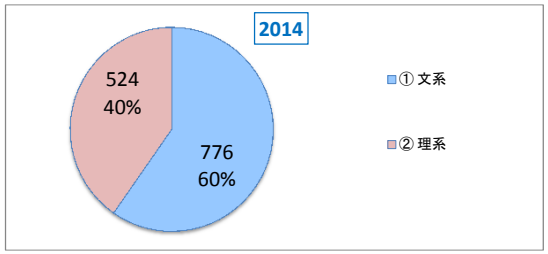




Q14　あなたは文系ですか、それとも理系ですか？

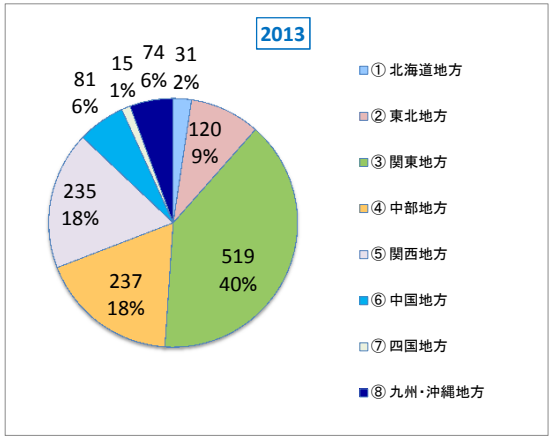
項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	文系	813	62	776	59
②	理系	499	38	524	40
計		1,312	100	1,300	99

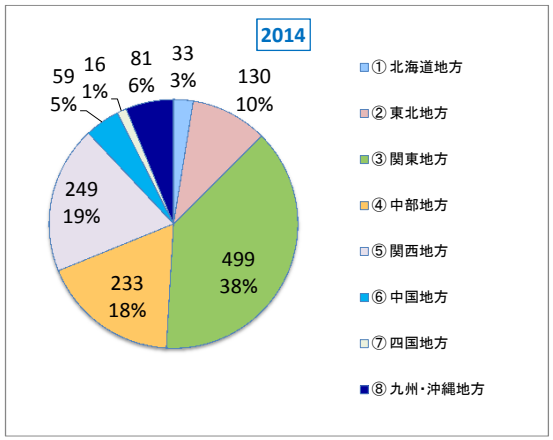




Q15　あなたの出身地域をお答え下さい。

項目		2013 人数	2013 回答率	2014 人数	2014 回答率
①	北海道地方	31	2	33	3
②	東北地方	120	9	130	10
③	関東地方	519	40	499	38
④	中部地方	237	18	233	18
⑤	関西地方	235	18	249	19
⑥	中国地方	81	6	59	5
⑦	四国地方	15	1	16	1
⑧	九州・沖縄地方	74	6	81	6
計		1,312	100	1,300	100



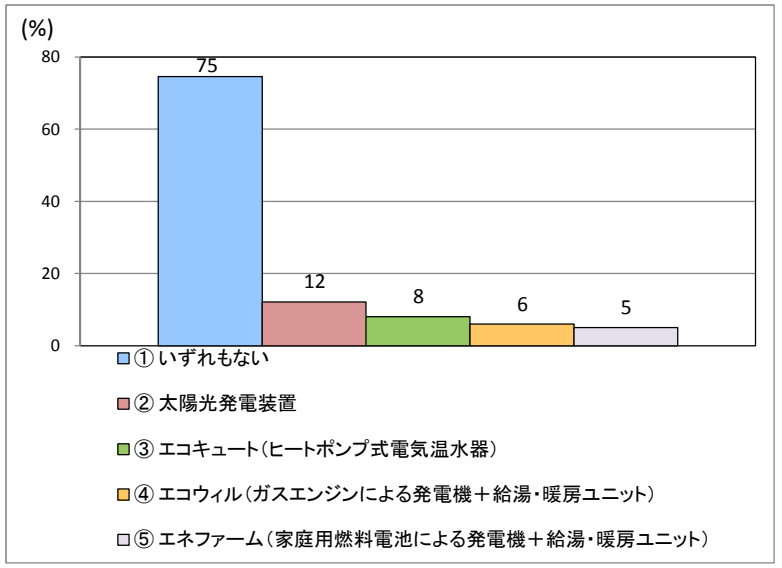


＜アンケート結果　2014 新規＞

Q①　自宅（実家）に以下の発電、給湯装置のうち、何かお持ちですか？

	項目	2014 人数*	2014 回答率
①	いずれもない	969	75
②	太陽光発電装置	158	12
③	エコキュート（ヒートポンプ式電気温水器）	105	8
④	エコウィル（ガスエンジンによる発電機＋給湯・暖房ユニット）	78	6
⑤	エネファーム（家庭用燃料電池による発電機＋給湯・暖房ユニット）	65	5

＊複数回答可

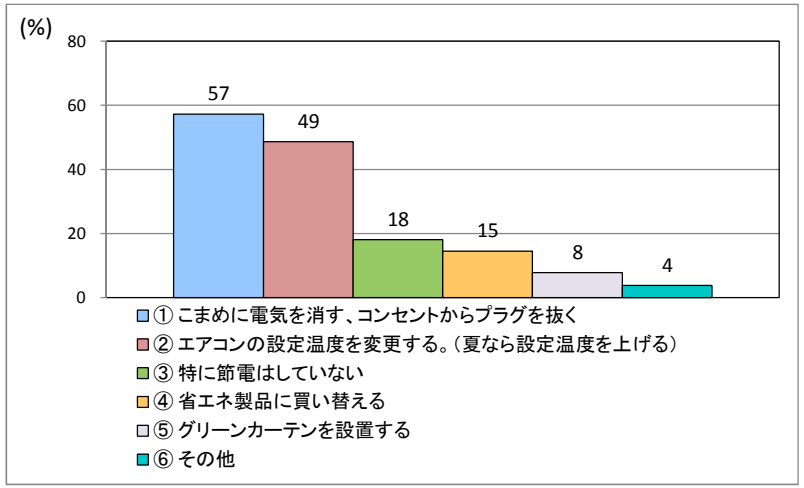


太陽光発電装置の設置実績は10%超

Q②　あなた、もしくはご家族が実践している節電方法は何ですか？

		2014 人数*	2014 回答率
①	こまめに電気を消す、コンセントからプラグを抜く	744	57
②	エアコンの設定温度を変更する。（夏なら設定温度を上げる）	632	49
③	特に節電はしていない	235	18
④	省エネ製品に買い替える	189	15
⑤	グリーンカーテンを設置する	101	8
⑥	その他	49	4

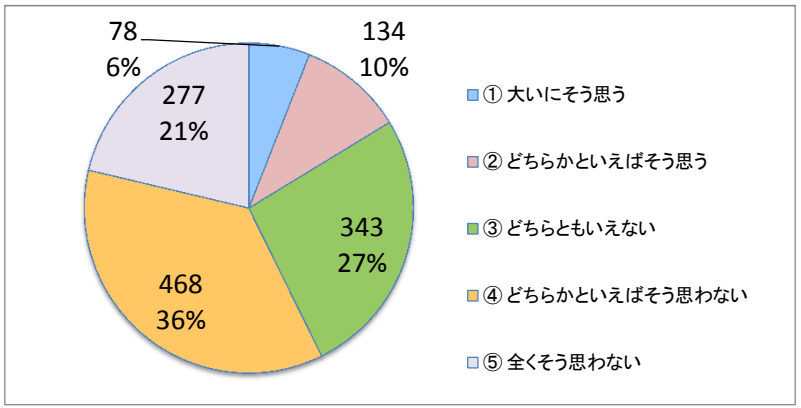
＊複数回答可



複数の節電方法を実践している人がいる一方、
何もしていない人が約2割いる。

Q③　「今すぐ、再生可能エネルギーを日本のエネルギーの主力にできる」と思いますか？

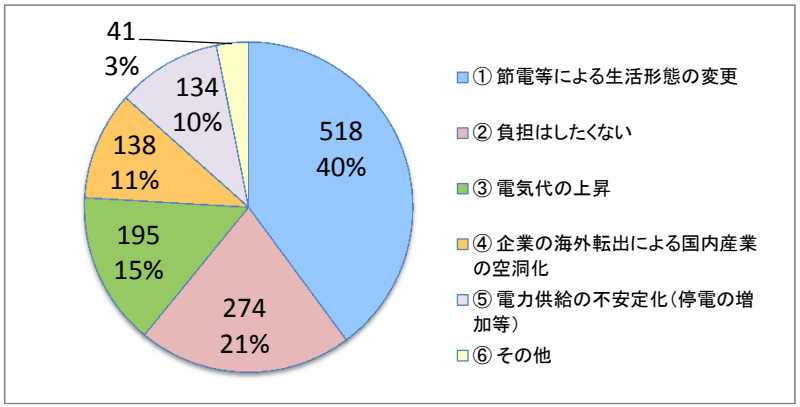
項目		2014 人数	2014 回答率
①	大いにそう思う	78	6
②	どちらかといえばそう思う	134	10
③	どちらともいえない	343	27
④	どちらかといえばそう思わない	468	36
⑤	全くそう思わない	277	21
計		1,300	100



今すぐ再エネが主力にできると思ってない人は多い（57%）
しかし、30年後にはできると思う人は16%→34%となり、
30年後もできないと思う人は57%→31%
（30年後のデータはQ6）

Q④　再生可能エネルギーを急速に普及させるために、あなたが負担しても良いと思うものは何ですか？

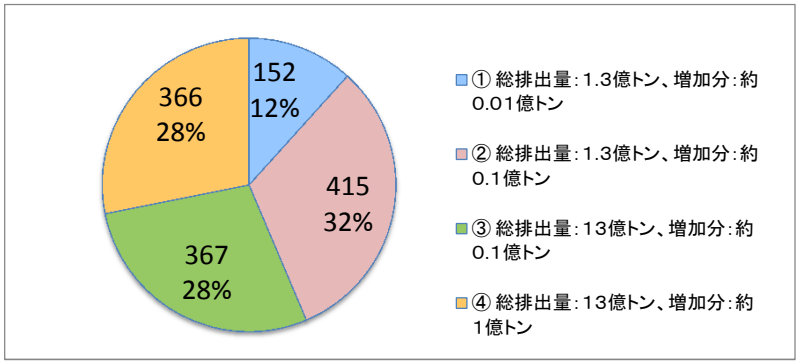
		2014 人数*	2014 回答率
①	節電等による生活形態の変更	518	40
②	負担はしたくない	274	21
③	電気代の上昇	195	15
④	企業の海外転出による国内産業の空洞化	138	11
⑤	電力供給の不安定化（停電の増加等）	134	10
⑥	その他	41	3
計		1,300	100



なんらかの負担をしても良いという人が約8割。

Q⑤　2012年度の温室効果ガスの総排出量と、原子力発電所が止まっていることによる同ガスの増加分はどれくらいだと思いますか？

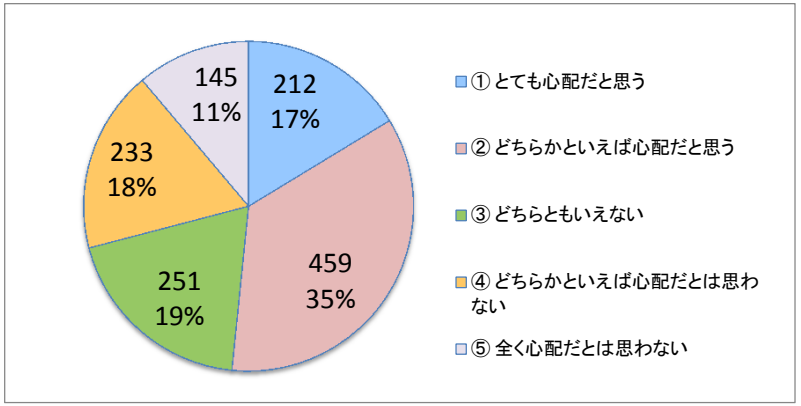
	項目	2014 人数	2014 回答率	
①	総排出量：1.3億トン、増加分：約0.01億トン	152	12	
②	総排出量：1.3億トン、増加分：約0.1億トン	415	32	
③	総排出量：13億トン、増加分：約0.1億トン	367	28	
④	総排出量：13億トン、増加分：約1億トン	366	28	⇒正解
計		1,300	100	



正解は約3割

Q⑥　原子力発電所の停止による、夏や冬の電力不足について心配だと思いますか？

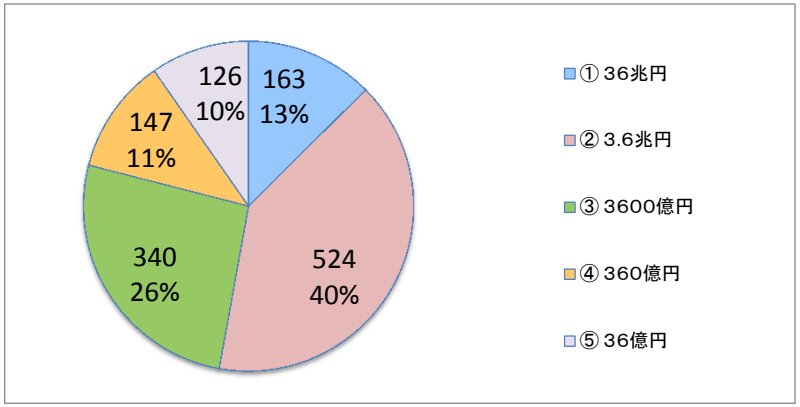
	項目	2014 人数	2014 回答率
①	とても心配だと思う	212	17
②	どちらかといえば心配だと思う	459	35
③	どちらともいえない	251	19
④	どちらかといえば心配だとは思わない	233	18
⑤	全く心配だとは思わない	145	11
計		1,300	101



過半数は心配している。

Q⑦　原子力発電の代替としてフル稼働したことによる火力発電の2013年度の燃料費 の増加分はいくらぐらいだと思いますか？

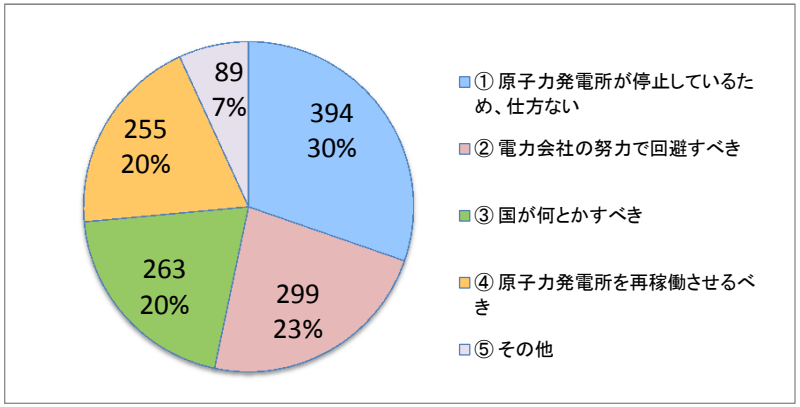
項目		2014 人数	2014 回答率	
①	36兆円	163	13	
②	3.6兆円	524	40	⇒正解
③	3600億円	340	26	
④	360億円	147	11	
⑤	36億円	126	10	
計		1,300	100	



正解は4割。本問題が正解率はトップ。

Q⑧　代替火力発電による燃料費増に伴う電気料金の値上げについてどう思いますか？

項目		2014 人数	2014 回答率
①	原子力発電所が停止しているため、仕方ない	394	30
②	電力会社の努力で回避すべき	299	23
③	国が何とかすべき	263	20
④	原子力発電所を再稼働させるべき	255	20
⑤	その他	89	7
計		1,300	100

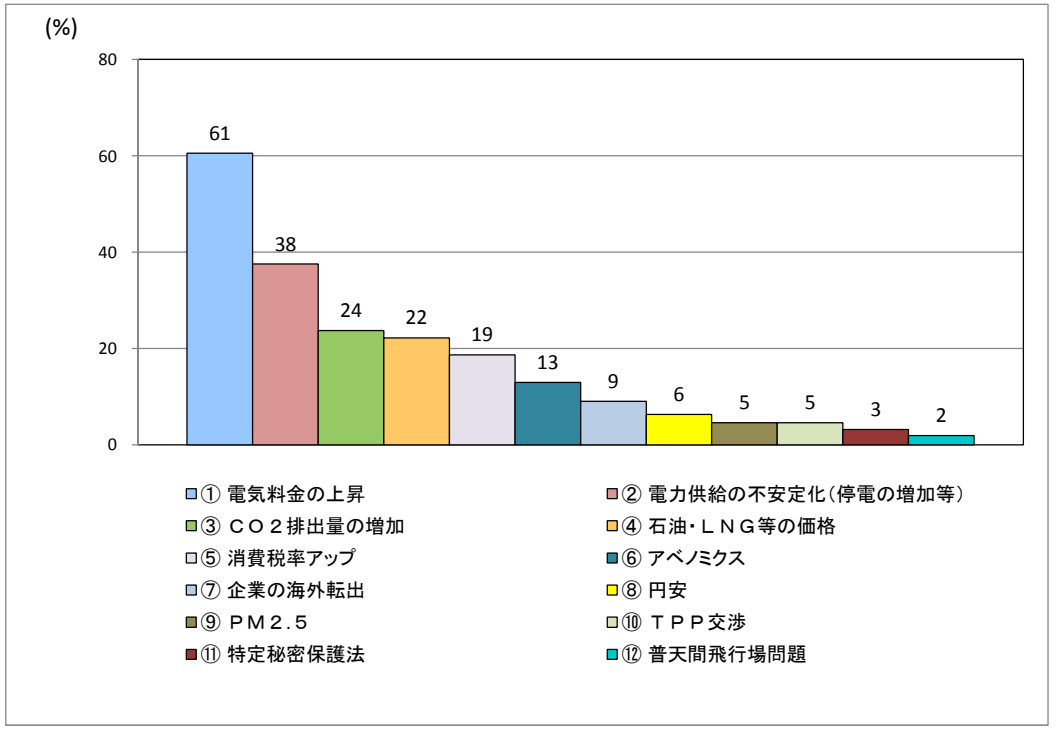


仕方ないとの意見が一番多く、3割を占めるも再稼働により解決すべきとの意見が2割。

Q⑨　日本国内で全ての原子力発電所が停止していますが、どのような影響があると思いますか？または影響があると思う項目は何ですか？

		2014	
		人数*	回答率
①	電気料金の上昇	787	61
②	電力供給の不安定化（停電の増加等）	488	38
③	CO2排出量の増加	308	24
④	石油・LNG等の価格	288	22
⑤	消費税率アップ	243	19
⑥	アベノミクス	168	13
⑦	企業の海外転出	117	9
⑧	円安	82	6
⑨	PM2.5	59	5
⑩	TPP交渉	59	5
⑪	特定秘密保護法	41	3
⑫	普天間飛行場問題	25	2

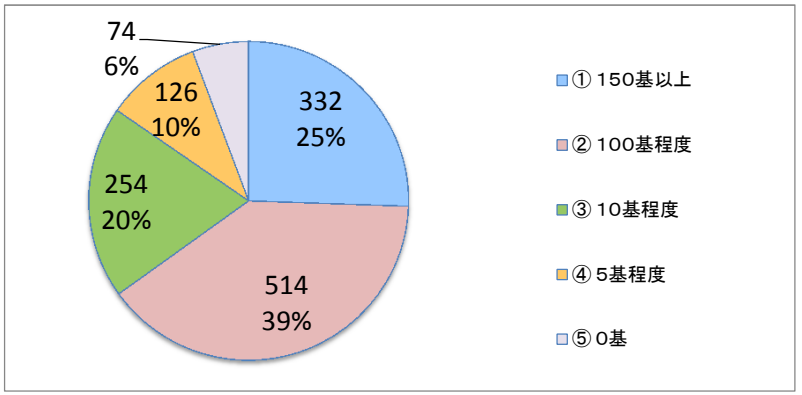
＊複数回答



Q⑩　世界の建設中（建設計画中を含む）の原子力発電炉の基数はどの程度だと思いますか？（2014年1月1日時点）

項目		2014 人数	2014 回答率
①	150基以上	332	25
②	100基程度	514	39
③	10基程度	254	20
④	5基程度	126	10
⑤	0基	74	6
計		1,300	100

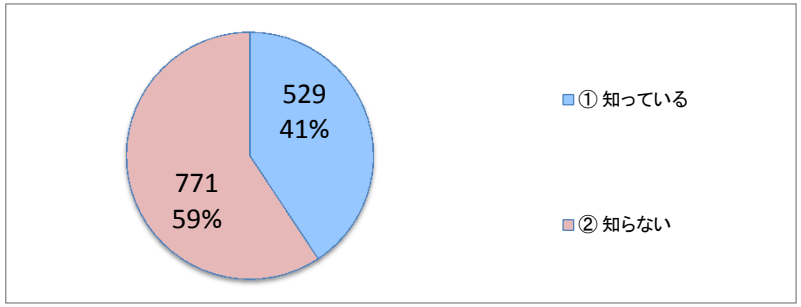
⇒正解
（建設中81基、計画中100基）



正解は25%

Q⑪　日本の原子力規制委員会を知っていますか？

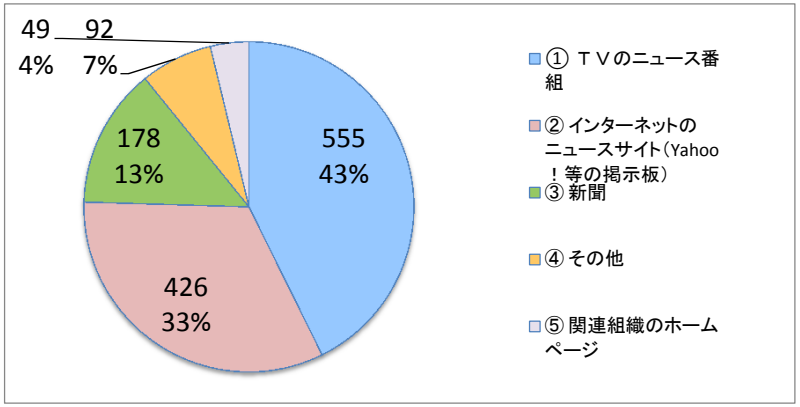
項目		2014 人数	2014 回答率
①	知っている	529	41
②	知らない	771	59
計		1,300	100



知らない人は約6割と認知度は低い。

Q⑫　あなたが普段情報を得る際に利用する媒体は何ですか？

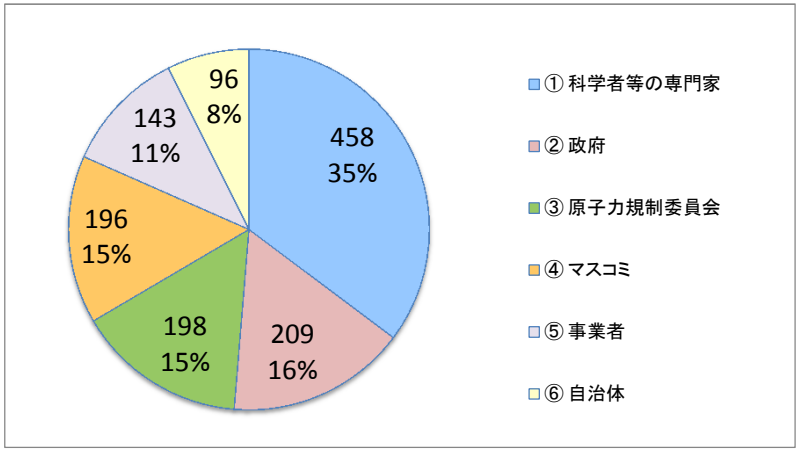
	項目	2014 人数	2014 回答率
①	TVのニュース番組	555	43
②	インターネットのニュースサイト（Yahoo！等の掲示板）	426	33
③	新聞	178	14
④	その他	92	7
⑤	関連組織のホームページ	49	4
計		1,300	100



新聞はTVのおよそ1/3。
インターネットが1/3を占める。

Q⑬　原子力発電に関する情報であなたが最も信用できる情報源は何ですか？

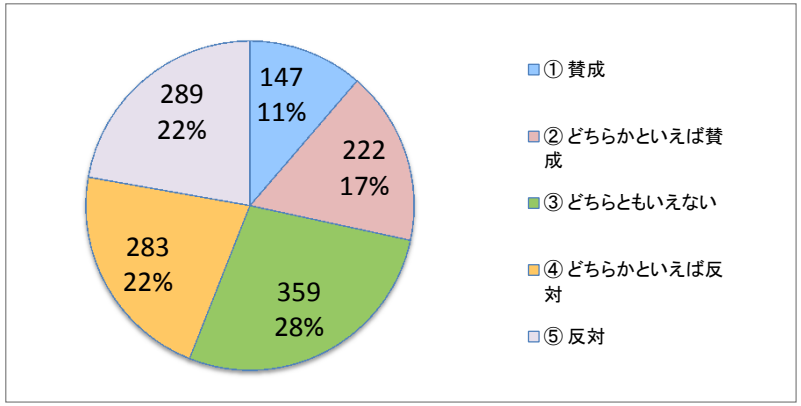
	項目	2014 人数	2014 回答率
①	科学者等の専門家	458	35
②	政府	209	16
③	原子力規制委員会	198	15
④	マスコミ	196	15
⑤	事業者	143	11
⑥	自治体	96	8
計		1,300	100



もっとも信頼されているのは科学者（35%）
またNRAを知っている人の1/3（198人/529人）が最も信頼できるとしている。

Q⑭　原子力発電所の再稼働に賛成ですか、反対ですか？

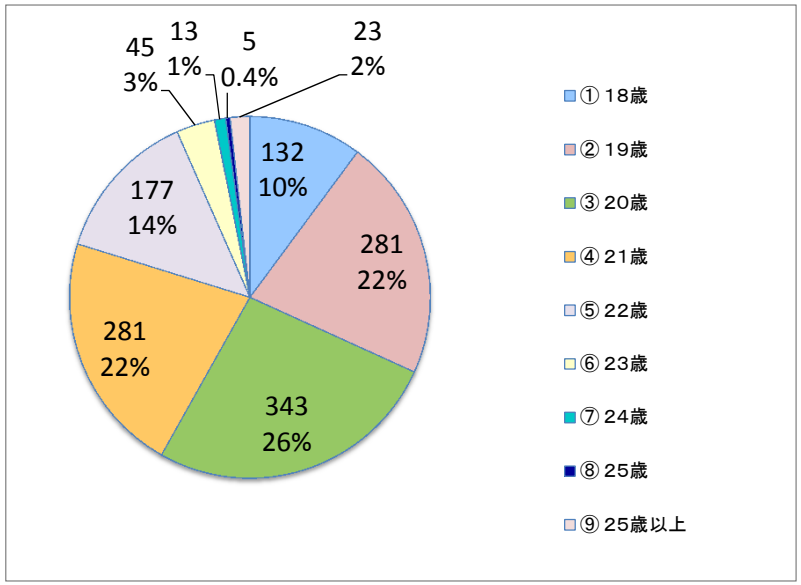
項目		2014 人数	2014 回答率
①	賛成	147	11
②	どちらかといえば賛成	222	17
③	どちらともいえない	359	28
④	どちらかといえば反対	283	22
⑤	反対	289	22
計		1,300	100



賛成は28%、どちらともいえないは28%、反対は44%

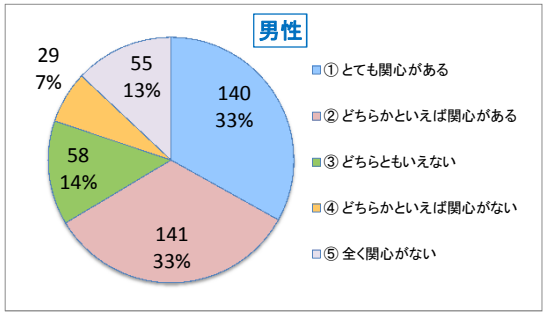
Q⑮　あなたの年齢は幾つですか？

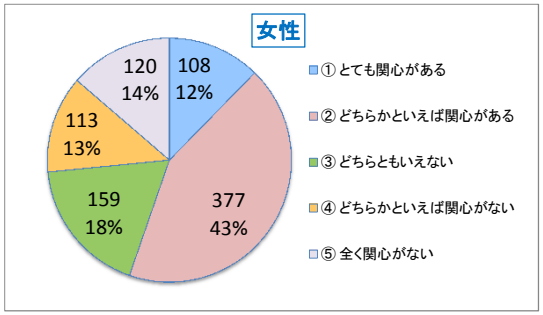
項目		2014 人数	2014 回答率
①	18歳	132	10
②	19歳	281	22
③	20歳	343	26
④	21歳	281	22
⑤	22歳	177	14
⑥	23歳	45	3
⑦	24歳	13	1
⑧	25歳	5	0.4
⑨	25歳以上	23	2
計		1,300	100



Q1　エネルギー問題にどの程度関心がありますか？

項目		男性		女性	
		人数	回答率	人数	回答率
①	とても関心がある	140	33	108	12
②	どちらかといえば関心がある	141	33	377	43
③	どちらともいえない	58	14	159	18
④	どちらかといえば関心がない	29	7	113	13
⑤	全く関心がない	55	13	120	14
計		423	100	877	100

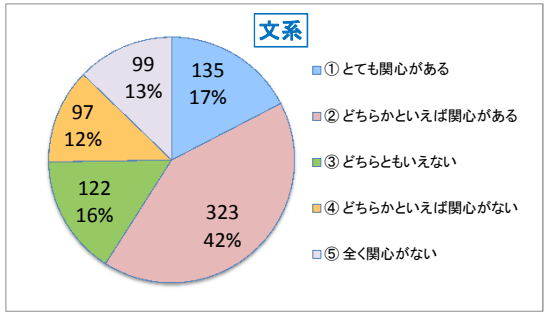


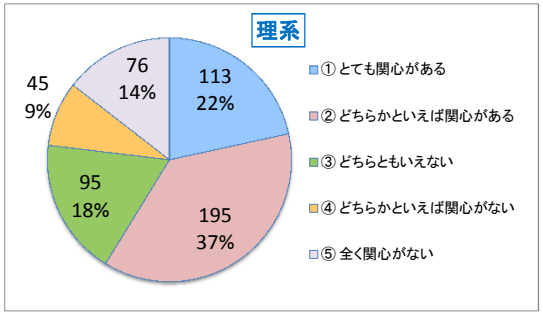


エネルギー問題への関心は男女ともに6割以上と高い。
関心がある(①+②)男性は66%、女性は59%
関心がない(④+⑤)男性は20%、女性は27%

Q1　エネルギー問題にどの程度関心がありますか？

項目		文系		理系	
		人数	回答率	人数	回答率
①	とても関心がある	135	17	113	22
②	どちらかといえば関心がある	323	42	195	37
③	どちらともいえない	122	16	95	18
④	どちらかといえば関心がない	97	13	45	9
⑤	全く関心がない	99	13	76	15
計		776	100	524	100

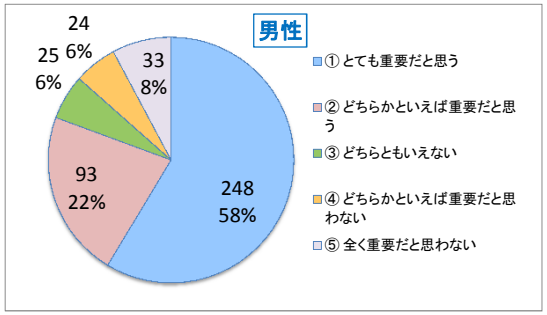


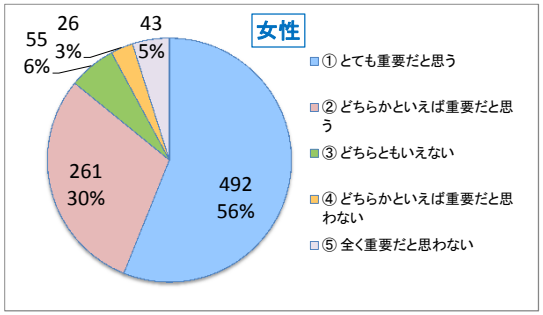


エネルギー問題への関心は文系理系ともに6割以上と高い。
関心がある(①+②)文系は59%、理系は59%
関心がない(④+⑤)文系は26%、理系は23%

Q2　日本の将来を考える上で、エネルギー問題は重要なテーマだと思いますか？

項目		男性		女性	
		人数	回答率	人数	回答率
①	とても重要だと思う	248	58	492	56
②	どちらかといえば重要だと思う	93	22	261	30
③	どちらともいえない	25	6	55	6
④	どちらかといえば重要だと思わない	24	6	26	3
⑤	全く重要だと思わない	33	8	43	5
計		423	99	877	100

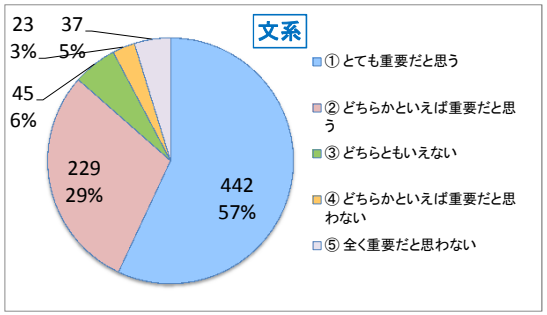


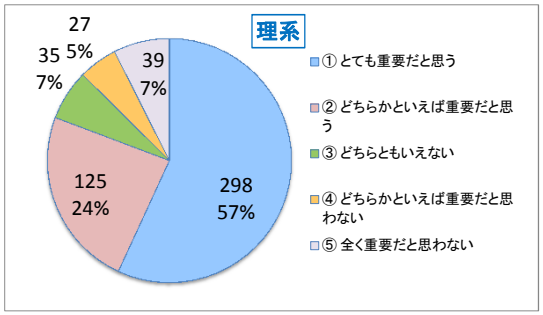


エネルギー問題が重要と思う人（①＋②）は男女ともに8割以上と高い。
男性は80%、女性は86%

Q2　日本の将来を考える上で、エネルギー問題は重要なテーマだと思いますか？

項目		文系		理系	
		人数	回答率	人数	回答率
①	とても重要だと思う	442	57	298	57
②	どちらかといえば重要だと思う	229	29	125	24
③	どちらともいえない	45	6	35	7
④	どちらかといえば重要だと思わない	23	3	27	5
⑤	全く重要だと思わない	37	5	39	7
計		776	99	524	100

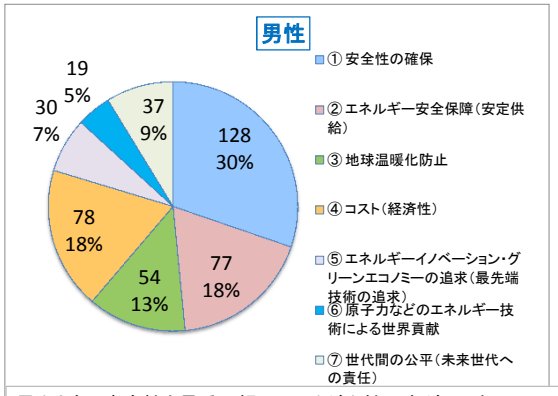


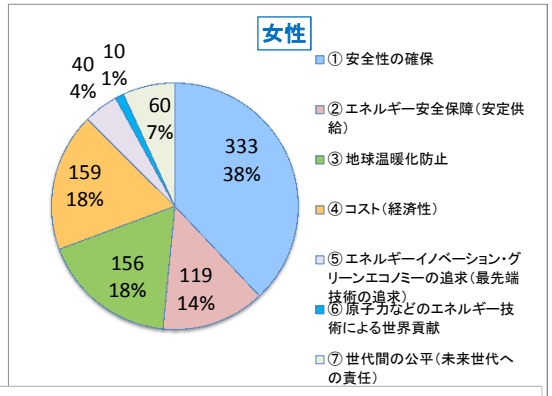


エネルギー問題が重要と思う人（①+②）は文系理系ともに8割以上と高い。
文系は86%、理系は81%

Q4　エネルギー源や発電方法を選ぶ際に、あなたが重視するのは次のうちどれですか？

		男性		女性	
項目		人数	回答率	人数	回答率
①	安全性の確保	128	30	333	38
②	エネルギー安全保障（安定供給）	77	18	119	14
③	地球温暖化防止	54	13	156	18
④	コスト（経済性）	78	18	159	18
⑤	エネルギーイノベーション・グリーンエコノミーの追求（最先端技術の追求）	30	7	40	4
⑥	原子力などのエネルギー技術による世界貢献	19	5	10	1
⑦	世代間の公平（未来世代への責任）	37	9	60	7
計		423	100	877	100

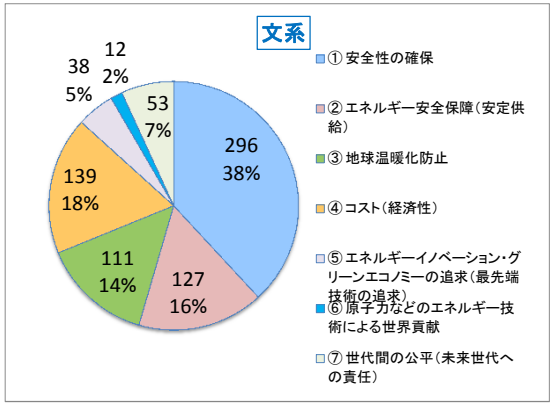


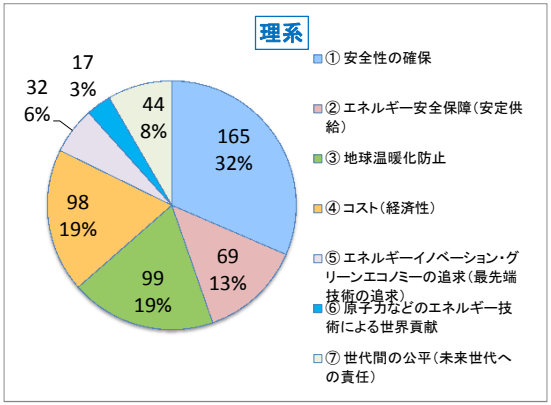


男女ともに安全性を最重要視しているが女性の方が8%多い。
　男性は1位：安全性、2位（同率）：エネルギー安全保障、コスト
　女性は1位：安全性、2位（同率）：温暖化防止、コスト、
また世界貢献は1%と低い。

Q4　エネルギー源や発電方法を選ぶ際に、あなたが重視するのは次のうちどれですか？

		文系		理系	
項目		人数	回答率	人数	回答率
①	安全性の確保	296	38	165	32
②	エネルギー安全保障（安定供給）	127	16	69	13
③	地球温暖化防止	111	14	99	19
④	コスト（経済性）	139	18	98	19
⑤	エネルギーイノベーション・グリーンエコノミーの追求（最先端技術の追求）	38	5	32	6
⑥	原子力などのエネルギー技術による世界貢献	12	2	17	3
⑦	世代間の公平（未来世代への責任）	53	7	44	8
計		776	100	524	100

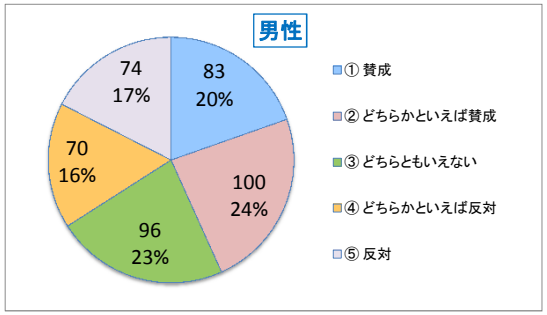


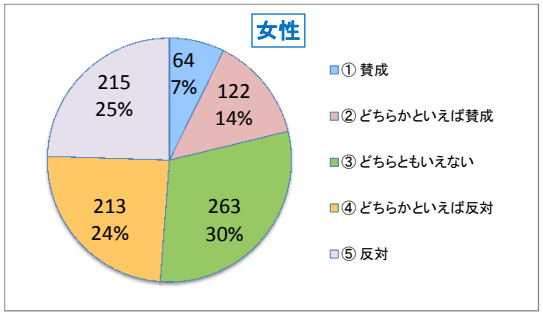


文系理系ともに安全性を最重要視しているが、文系の方が6%多い。
　文系は1位：安全性、2位コスト、3位エネルギー安全保障
　理系は1位：安全性、2位（同率）：温暖化防止、コスト

Q⑭　原子力発電所の再稼働に賛成ですか、反対ですか？

項目		男性		女性	
		人数	回答率	人数	回答率
①	賛成	83	20	64	7
②	どちらかといえば賛成	100	24	122	14
③	どちらともいえない	96	23	263	30
④	どちらかといえば反対	70	16	213	24
⑤	反対	74	17	215	25
計		423	100	877	100

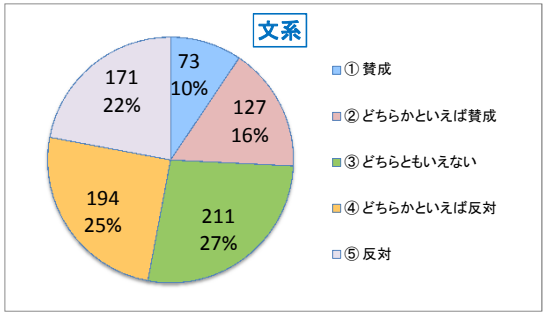


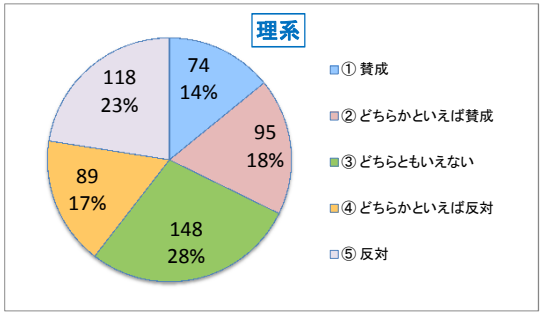


男性は賛成が反対を上回り、女性は反対が賛成を上回る。
反対（④＋⑤）は男性33%、女性49%
賛成（①＋②）は男性44%、女性21%

Q⑭　原子力発電所の再稼働に賛成ですか、反対ですか？

項目		文系		理系	
		人数	回答率	人数	回答率
①	賛成	73	10	74	14
②	どちらかといえば賛成	127	16	95	18
③	どちらともいえない	211	27	148	28
④	どちらかといえば反対	194	25	89	17
⑤	反対	171	22	118	23
計		776	100	524	100





文系、理系ともに反対が賛成を上回る。文系は理系に比べ賛否の差が大きい。
反対（④＋⑤）は文系47%、理系40%
賛成（①＋②）は文系26%、理系32%